

光の景観づくりについての考え方

これまで

明るく照らす

- 明るいほど良く見える
- 明るいほど安全・安心
- 華やかでな光は人を引きつけ、場を活性化させる

美しい光をつくる

- 輝き、キラキラ、ピカピカ
- イルミネーション、プロジェクションマッピング
- デザイン性が高く、光自体が美しい

道路や広場をライトアップ

- 道路や橋や公園など公共の光が中心の風景
- 光の風景を鑑賞する
- 行政やビルオーナーに光の整備を依頼する



これから

暗く照らす

- 強い光は周りを見えにくくする
- 夜の暗さの中に陰影のある風景をつくる
- 窓あかりや月の明るさに合わせる

光の背後を感じさせる

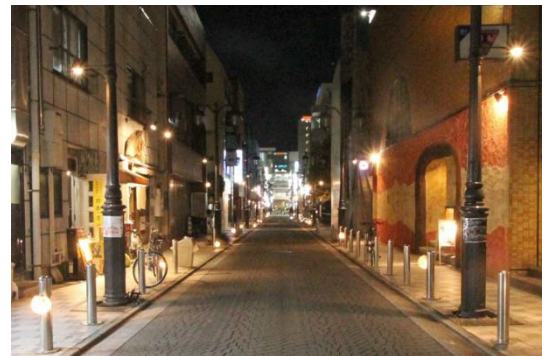
- 光で照らされた風景を感じる
- 人の気配や様子を感じる
- 光が透過していくことを活用する

個からつくる光の風景

- 場所ごとエリアごとの特徴が感じられる光
- 個の光の集積でできる光の風景
- 光の風景を自らつくる



柴崎中央公園通り・通常時



実験時(2013)